

Press Release

2016年2月29日

ヘンケル、2011年から2015年のサステナビリティの目標を達成 ～2015年度版サステナビリティレポートを発行～

デュッセルドルフ・ヘンケルは25日、昨年末までに2010年比で、エネルギー効率において18%、水の消費量において23%、廃棄物量において17%削減し、2030年までのサステナビリティ戦略の中間目標を達成したことを発表しました。さらに2020年に向けた新たな数値目標を設定し、2015年度版サステナビリティレポートを発行しました。第1回目のレポートはおよそ四半世紀前、リオ・デジャネイロで環境と開発に関する国連会議が行われた1992年に発行されています。

ヘンケルの人事部門担当取締役副社長でサステナビリティ評議会会長であるカトリン・メンゲスは、「2015年はヘンケルにとって重要な年でした。当社は2030年に向けた長期のサステナビリティ戦略における最初の5カ年の中間目標を達成しました。しかし当社はここでとどまりません。当社はすでに次のステップを見据えています。サステナビリティを継続的に遂行するために、当社は2020年に向けた新たな意欲的な目標を設定し、全体のバリュー・チェーンに沿って施策を行う追加的な分野を定義しました」と述べています。

中間目標を達成 – 2020年に向けた新たな意欲

「資源の使用削減でより大きな目標達成」「2030年までに資源効率を3倍にする」 – これがヘンケルのサステナビリティ戦略の目標です。当社は大きく前進し、2011年から2015年の中間目標を上回りました。

- エネルギー効率を18%削減
- 水の消費量を23%削減
- 廃棄物量を17%削減
- 労働安全を33%改善
- 売上高は11%増加

全体としてヘンケルは、自らが創出する価値と環境フットプリントの関係を38%改善させました。



For 2020 we have set ourselves new interim targets (base year 2010):

+75% Overall efficiency	+22% more net sales per ton of product	+40% safer per million hours worked	-30% less water per ton of product	-30% less waste per ton of product	-30% less energy / CO ₂ emissions per ton of product
-----------------------------------	--	---	--	--	---

新たな目標は、2020年までに2010年比で、製造現場からの二酸化炭素の排出量、水の消費量および廃棄物量を生産量1トン当たり30%削減することです。労働安全は生産量1トン当たり40%改善、売上高は生産量1トン当たり22%増加させます。これらの目標の達成により、2020年までに2010年比で、全体効率を75%改善することとなります。

スクールプロジェクトを約63,000人の子どもたちに対し実施

ヘンケルは企業として、環境フットプリント削減でより大きな価値を創出することを目標にしています。また当社はサステナビリティ向上のために貢献するよう、ヘンケルにかかわるすべての人々に奨励しています。これはサプライヤー、顧客および消費者との対話を通して行われています。ヘンケルの従業員はサステナビリティ大使プログラムの中心となっています。このプログラムの一環として、当社はスクールプロジェクトの取り組みを2015年も引き続き実施しました。ヘンケルの従業員は研修を受け、生徒を含め社外の人々に対してサステナビリティに即した行動の大切さを伝えています。2012年以降、約6,200名の従業員がサステナビリティ大使となり、スクールプログラムは43カ国で約63,000人の生徒たちに対して実施されました。



ヘンケルのサステナビリティにおける成果は、2015年にもまたさまざまなサステナビリティ・レーティングおよびランキングにおいて表彰されました。ヘンケルは「世界で最も持続可能性のある企業100社」(Global 100 Index)に再び選出され、またEcoVadis社から「ゴールド」の評価を受けました。また当社は、RobecoSAM社から「シルバークラス」も受賞しています。

写真を含む資料は<http://www.henkel.com/press>でご覧いただけます。

(本プレスリリースは2月25日にドイツ・ヘンケル本社発表のプレスリリース翻訳版です)

ヘンケルについて

ヘンケルはブランドとテクノロジーのグローバルリーダーとして、ランドリー&ホームケア、ビューティーケア、アドヒーズブテクノロジーズ(接着技術)の3つの分野で事業展開をしています。ヘンケルは1876年の創立以来、コンシューマービジネスおよび産業分野において、Persil(パーシル)、Schwarzkopf(シュワルツコフ)、Loctite(ロックタイト)などに代表される有名なブランドの数々と共に、グローバルにおけるマーケットリーダーとしての地位を維持しています。ヘンケルの従業員数は約50,000人であり、2015年の売上高は181億ユーロ、調整後の営業利益は29億ユーロを計上しました。ヘンケルの優先株はドイツ株式指数DAXのリストに入っております。

ヘンケルジャパンホームページ: <http://www.henkel.co.jp>

ヘンケルジャパンフェイスブックページ: <http://www.facebook.com/HenkelJapan>

—本件に関するお問合せ先—
ヘンケルジャパン株式会社 広報室 黒木 健
TEL: 080-4859-0988 e-mail: takeshi.kuroki@henkel.com